

急性上行大動脈解離で緊急手術となった症例の循環呼吸管理の検討

1. 研究の対象

対象：当院に急性上行大動脈解離の診断の下に搬送されてきて、緊急手術となった症例を対照に検討します。

2. 研究目的・方法

急性上行大動脈解離は手術を施行しなければ90%以上が死亡する致死率の高い疾患ですが、緊急手術を施行すれば70-80%は救命できる可能性がある重篤な疾患です、近年の医療の進歩により救命率が少しずつ改善されてきていますが、心タンポナーゼや破裂を伴うと死亡率は悪化します。そうした症例の循環呼吸管理をどのように工夫すれば予後を少しでも改善できるかどうかを検討していきたいと考えています。特に術中の昇圧薬の使用方法や降圧療法などをバランス良く使用することが循環安定に必要となります。また、様々な合併症を持ち合わせていることも多くありますが緊急手術では十分に把握できないことも多く、呼吸状態を含めた周術期管理が重要となります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテおよび麻酔記録から得られる情報、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号等をします。

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

心臓病センター榊原病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病者さまもしくは病者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：麻酔科 大西佳彦

研究責任者：麻酔科 大西佳彦